

平成27年度 教育事業 大隅なるほど探検隊

～スノーケリングで錦江湾をのぞいてみよう～

- 1 趣 旨 大隅半島の自然環境についての知識を深め、それを大切にしていこうとする態度を養うとともに、海に親しみ安全に活動するための知識・技術を習得する。
- 2 期 日 平成27年7月11日(土)～12日(日) 1泊2日
- 3 対 象 者 小学校4年生～中学3年生
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 46人
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア2名



7 日程と主な活動

	時 間	活動内容
一 日 目	10:30	受付(新城海の家)
	11:00	出会いのつどい・オリエンテーション
	11:45	昼食・着替え
	13:00	スノーケリング講習
	15:30	後片付け・着替え
	16:30	バス移動(大隅青少年自然の家へ)
	18:00	夕食(レストラン)
	19:00	スライドショー「錦江湾の魚たち」
	20:30	入浴・就寝準備
	22:00	就寝
二 日 目	6:00	起床・荷物整理・清掃
	7:00	朝のつどい・朝食(レストラン)
	9:00	バス移動(鹿屋体育大学海洋スポーツセンターへ)
	10:00	スノーケリングで海中散歩(荒平天神海岸)
	11:45	後片付け・着替え
	12:30	昼食
	13:30	まとめと振り返り
	14:00	別れのつどい・解散



8 事業運営について

本事業は、スノーケリング活動をメインに海洋環境への興味関心を高められるよう、フィールドの選定や、当日の施設借用等、鹿屋体育大学海洋スポーツセンターの協力を得た。

9 事業の実際

(1) これまで当施設ではプログラム化されていないスノーケリングを新規導入するにあたって、特に安全面について細心の注意を払い、1日目に用具の扱い方や呼吸の仕方についての講習を行った。

また、スノーケリングという活動を通して、海で活動する際の危険な状況や、事故を防ぐために気をつけることなども合わせて説明を行った。

参加者は、スノーケリング体験中もバディでいることを心がけ安全に活動していた。

(2) スノーケリングを単なる「楽しい活動」で終わらせるのではなく、より深い学びにつなげるため、1日目の夜に錦江湾の概要や生き物に関するスライドショーを行った。クイズを交えながら講義を進めたことにより、より水中の世界に興味を持つようになり、次の日への動機付けの機会となった。

(3) 2日目はうねりがあり、透明度も低かったため生き物の観察ができなかったが、参加者を囲む形でレスキュースタッフを配置し、プログラムを実施した。参加者はバディ同士で気かけあいながら、波間での遊覧を楽しむことができた。

10 成果

新たにスノーケリングを教育事業において試行してみたが、参加者たちの反応は非常に良く、研修支援プログラムへの導入と足がかりとなった。今後試行を重ねながらマニュアル等を整備し、プログラム化につなげていきたい。

鹿屋体育大学海洋スポーツセンターと連携ができたことにより、対象者の年齢や体力に応じたフィールド選定の幅が広がった。

